

第 1 号議案 2020 年度事業報告

1. 概要

<この一年>

2020 年は、新型コロナウイルスの感染拡大という、世界中が目に見えない脅威にさらされ、愛知県においても 3 度に渡る緊急事態宣言の発令、外出自粛要請、営業自粛要請などにより、私たちの生活も一変しました。そしてそのウイルスの猛威は、今もなお続いている状況です。

子ども & まちネットの事業展開も難しい一年となりました。特に、不特定の子どもの若者たちが一度に多く集まるイベントや講座が相次いで中止となり、対話やコミュニケーションを重視する遊びや学びの場がなくなりました。2019 年まで名古屋市より受託開催してきた「名古屋市子どものまち事業」も、開催することができませんでした。

そんな中、「新しい生活様式」と言われるように、感染防止対策を講じながら、私たちに何ができるかを常に模索することで、新たな事業展開も生まれてきました。2020 年はまさに「ニューノーマル元年」と言える年となりました。

<主たる事業(事業詳細は次章で)>

自主事業および千種区社会福祉協議会の助成を受けて行った「ワンストップひろば事業」は、2020 年 3 月 2 日から引き続き 6 月 21 日まで感染拡大防止のために閉所することとなりました。再開後は、1 日の利用者数を限定して事前予約制という、これまでにない形で開催しました。

医療・研究・福祉・企業分野からメンバーを集めた「STEP プロジェクト事業」は、日本社会福祉弘済会の助成事業として継続しましたが、集合型研修から全てオンライン研修に変更しての開催となりました。

<名古屋市青少年交流プラザ(ユースクエア)・青少年宿泊センター指定管理>

「ユースクエア事業」においても、2020 年 3 月 2 日から 6 月 1 日まで本館・分館とも臨時閉館となり、いくつかの事業は中止を余儀なくされました。再開後は名古屋市のガイドラインに従った感染対策を講じながら、事業活動を行いました。引き続き職員 2 名、非常勤職員 1 名が事業運営を担当しました。

<会員の状況>

正会員 個人:39 人、団体:2 団体 (昨年度個人:34 人、学生:5 人、団体:2 団体)
情報会員 個人:5 人、団体:0 団体 (昨年度個人:5 人、団体:0 団体)
賛助会員 個人:7 人、団体:1 団体 (昨年度個人:6 人、団体:1 団体)
合計 51 人と 3 団体 (昨年度 50 人と 3 団体)

2. 事業の実施に関する事項

文中の敬称は略しました。

[1]「こどもにやさしいまちづくり」のための手法開発と普及、支援政策提言

事業名	名古屋市青少年交流プラザ(本館)、名古屋市青少年宿泊センター(分館)指定管理
主催	名古屋市子ども青少年局
事業目的	青少年交流プラザ(ユースクエア)における、主に若者の地域参画や自立に向けた体験活動などについて事業を企画し運営する。
実施期間	2020年5月～2021年4月
スタッフ	白川陽一・小島紫(常勤職員)、伊藤一美・水野真由美(理事/非常勤職員)、田中弘美(理事・「ぼくらのサードプレイス事業」統括)
事業内容	<p>・ 公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会、特定非営利活動法人 ICDS との三者のコンソーシアムで運営管理。</p> <p>以下は 2020 年度の事業のうち、子まちが担当したもの。</p> <p>※ユースクエアでは、若者の支援プログラムを三段階にとらえ、まず「人とつながり」、次に「地域社会につながり」、最後には「その地域社会に貢献できるような若者を育成する」という段階を踏んだ支援事業を企画している。</p> <p>一層目:【人につながる支援】</p> <p>ユースクエアが心地の良い居場所であることを目指した事業の1つが、「ぼくらのサードプレイス」。コミュニケーションが苦手という人が集まり、ゲームやワークショップで同じ場の人々と安心した人間関係をつむぐことをめざした。(* 印はオンライン)</p> <p>●開催日:8月23日(日)、9月27日(日)、10月25日(日)、11月22日(日)、 * 2021年1月24日(日)、2月28日(日) ※コロナ対策のため中止…5月24日(日)・6月28日(日)・7月26日(日)</p> <p>●参加人数:のべ18人</p> <p>自分のやりたいことがよくわからない、自分のやりたいことを自分で決めてやってもいいんだ、ということ意識していない若者たちを対象に、“マイプロ”(身の回りの気になることをテーマに、自ら設定した「プロジェクト」を、専用の記入シートを活用して、それを仲間と共有しながら、一人一人が実践していくプログラム)を実施したのが「ナゴヤココカラキャンプ」。主体性や自分の人生に対する当事者意識を育み、一歩踏み出す経験を得ることを目的として開催した。</p> <p>●開催日:11月28日(土)・29日(日)</p> <p>●参加人数:のべ11人</p>

青少年が、自分の興味のあることややってみいたいことに気軽にチャレンジできる枠組み、「なんでも TRY at ユースクエア」。本年度は4年目になる「アニメトーク」のみ開催。コロナ禍で人に会うことが少なくなる中、定期的に仲間と話す機会を持つことが支えになっている、というメンバーの声に応じて継続的に開催。

●開催日:6月9日(火)・7月7日(火)・8月4日(火)・9月1日(火)・10月2日(金)・
10月28日(水)・11月17日(火)・12月25日(金)・2月25日(木)

●参加人数:のべ58人

二層目:【地域・まちにつながる支援】

子どもに関わる職業やボランティアの人に、子どもの遊びとそれを介した関わり方について知ってもらうことを目的とする『プレイワーカー入門講座』を開催。第1回オンラインワークショップではプレイワーカー、児童館館長、公園の管理者を講師に迎え、それぞれの立場からコロナ禍の“子ども”“遊び”を語ってもらうことで、参加者に子どもたちの現状と遊びの大切さを知ってもらった。第2回名城公園でのプレイパーク実習では、その学びを意識しながら子どもと関わる体験をしてもらうことを目指した。

●開催日:

第1回オンライン講座…10月11日(日)

第2回プレイパーク実習(at.名城公園)…11月1日(日)

●参加人数:第1回 25人 ・ 第2回 72人

ユースクエアに登録している青少年育成サポーター(ユースボランティア)のスキルアップのための講座、『音響・照明の操作を学ぼう』を北文化小劇場の協力を得て開催。操作を学んだ後、パフォーマーを募り、舞台装置のセッティングを行い、パフォーマンスを収録・編集し、上映会を行う、という学ぶだけでなく、実際にやってみることを組み込んだ講座を実施。

●開催日:8月8日(土)・8月9日(日)・10月11日(日)・11月8日(日)

●参加人数:のべ55人

前述の『音響・照明の操作を学ぼう』で学んだ高校生たちが、“高校生スタッフが、高校生バンドのライブフェスを企画運営する”試みをしたい、と声を上げたことでスタートした企画が『Hopeful fes 2021』。当初、1月の北文化小劇場での開催のみの予定であったが、パフォーマー側からの、「なんとか今年度中にもう一回開催してほしい!」という強い要望を受け、急遽3月、プラザのプレールームにて第2回を開催、満足度の高い企画となった。

●開催日(実行委員会、準備、リハーサル含む):

12月2日(水)・12月19日(土)・12月20日(日)・1月5日(火)・1月9日(土)

1月29日(金)・1月30日(土)・3月20日(土)・3月21日(日)

●参加人数:のべ341人の参加(高校生実行委員10名)

プラザ企画委員会では、コロナ禍により例年の体制は大きく崩れたが、感染症対策を施しながら

	<p>「ユースクエアまるごとフェスティバル」の企画・運営を行うことができ、青少年をパートナーとした運営体制を途絶えさせなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●開催日:3月7日(土) ●参加人数:のべ101名参加 <p>三層目:【地域・まちに働きかける支援】</p> <p>「サステナまち計画 2020」は、愛知学院大学・名古屋市北区役所等と協働し、広く「持続可能な地域」を見据え、北区の地域問題(今回は防災に伴う諸問題)について、地元企業と協力をしながら解決に寄与するアイデアを若者が提案した。</p> <p>※2020年度連携先</p> <p>愛知学院大学地域連携センター、北区役所(地域力推進室・総務課) 株式会社大翻、株式会社若鯨家、日研工業株式会社、永和化成有限会社 特定非営利活動法人わっぱの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●実施期間 2020年11月15日(日)・12月12日(土) ●参加者(中高大学生 のべ40名) ●成果発表会 2020年12月12日(土) 参加72名 <p>「未来デザイン・ファシリテーター実践講座」</p> <p>社会に変化を起こすイノベーション・ファシリテーターとしての在り方を、例年同様に上井靖さんから学んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●開催日:10月31日(土)、11月7日(土)、14日(土)、21日(土) ●参加人数:のべ43名 <p>このほか、「ユースカンファレンス」を行った。若者が本館・分館の運営に参画していくことを意図している。両館の利用経験の有無にかかわらず、若者に集まってもらい施設や事業の評価を行った。</p> <p>(本館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●開催日:10月18日(日)、会場:ユースクエア ●参加人数:19名 <p>(分館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●開催日:12月2日(水)、会場:愛知キャンプカウンセラー協会事務所 ●参加人数:3名
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で年度前期の事業は軒並み中止をせざるを得ない状況が続いたが、各種感染症対策を講じたり、参加者の定員を減らしたりするなどで対応し、年度後期は変化に対応した事業運営をすることができた。 ・「マイプロ(マイプロジェクト)」の取り組みが複数事業に連鎖・展開した。企画委員会でメンバー各々がマイプロを作成し、その一部が自主活動推進事業として実施された。そして、企画委員会のマイプロの取り組みはユースカンファレンス(本館)で報告され、それに影響を受けたユースカンファレンス参加者が講師となり、「ナゴヤココカラキャンプ」が生まれた。さらに、「ナゴヤココカラキャン

	<p>プ」の参加者が強く結びつくに至り、その成果発表が年度末の「ユースクエアまるごとフェスティバル」で行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ユースカンファレンス(本館)」では、主体性の源泉にどんなものがあるのか、ユースクエア企画委員会の「マイプロ」の取り組みから見出した。その成果は、その後の事業計画や企画書づくりに反映されるようになった。 ・「なんでも TRY at ユースクエア」から誕生した自主イベント「アニメトーク」は4年目を迎えたが、メンバーたちの大切な居場所となっているのはもちろん、プラザに若者を迎え入れる枠組みの一つとして定着してきている。 ・「プレイワーカー入門講座」では、公園、大学、児童館など、さまざまな機関と連携して開催したことで、今後の事業のさらに広い連携につながる基盤ができた。 ・「音響照明講習会」で学んだ高校生が「Hopeful Fes」を企画するなど、若者たちが自分の思いを実現していく道筋が作れるようになってきて、ユースセンターらしさが増してきた印象がある。 ・「サステナまち計画 2020」は、コロナ禍の影響で小さい規模での開催ではあったが、引き続き近隣企業との協働、区役所・大学との連携を図ることができた。成果発表会は昨年よりも多い人数が集まった。 ・オンライン活用の推進が図られており、職員や若者がツールを使いこなしていくことに、継続的な課題がある。
--	--

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年名古屋市より受託開催している名古屋市子どものまち事「なごや☆子ども City2020」は中止となりました。

その他 各種委員会出席等

委員：名古屋市交通問題調査会委員、名古屋市名古屋子ども・子育て支援協議会委員、大府市青少年問題協議会委員（以上伊藤）

[2]子ども・子育て・まちづくりに関する情報収集と発信事業

事業名	こまち通信、会員 ML(メーリングリスト)運営、サイト運営、Facebook 等 SNS 運営
自主事業	
事業目的	子まち会員内外への情報提供。会員相互の交流も兼ねる。
実施期間	サイト管理(外部委託)、Facebook 等 SNS 管理:通年 「こまち通信」号外:2020年7月、35号:9月、36号:2021年1月、37号:4月
担当	こまち通信:伊藤一美(理事)、37号より外部委託 会員 ML:伊藤一美(理事)、サイト運営管理:外部委託、 Facebook 等 SNS 管理:西村健(会員)、水野真由美(理事) ワンストップひろば専用 Instagram 水野真由美(理事)戸谷令子(会員)、ワンストップひろば専用公式 LINE 水野真由美(理事)、牛田真登(学生会員)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●こまち通信・ML とも事業の告知・報告をはじめ、会員に知らせたい内容などを掲載。ML は会員同士の情報交流を目指し、年 27 回の発信を行った。 ●こまち通信 号外：総会報告 35号：「STEPプロジェクト事業」案内、「子どもアドボカシーセンターNagoya」設立総会報告等 36号：「STEPプロジェクト事業」報告、ユースクエア事業「プレイワーカー入門講座」報告等 37号：「理事長交代のごあいさつ」、ユースクエア事業の紹介等 ●Facebook 等 SNS では、日常の事業案内や報告
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS のフォロワーや閲覧数が増加する一方で、依然として紙媒体の通信に期待する声もあり、紙媒体と Web サイトや SNS 配信とのすみ分けなどの課題は残る。 ・会員相互の交流の場づくりには、引き続き工夫が必要と考える。

[3]子ども・子育て・まちづくりに関わる人々のネットワークづくり、コーディネート事業

事業名	ワンストップひろば「小さい子どものセンスオブワンダー」
・自主事業、 ・助成元：千種区社会福祉協議会（ボランティア・NPO 応援助成事業（赤い羽根共同募金分配金））	
事業目的	乳幼児期の子育ての不安の解消、仲間づくりなどを手伝い、子育て情報を伝える。また保護者同士の仲間作りをサポートする。
実施期間	<ul style="list-style-type: none"> ●自主事業 期間：2020 年 5 月 1 日～2020 年 4 月 30 日 ・自由あそび、親子ヨガ ●千種区社会福祉協議会助成事業 期間：2020 年 10 月 1 日～2021 年 2 月 28 日 理学療法士による「ママと子どものからだづくり講座」全 5 回開催
講師、 スタッフ	<p>講師：寺本久美子（ヨガ講師、当法人会員）、 中村由布（理学療法士、BHB 子どもからだアドバイザー）</p> <p>スタッフ：戸谷令子、水野千鶴、（以上会員）他9名、／水野真由美、伊藤一美（理事）、</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策で、3 月から引き続き活動を中止し、6 月 22 日（月）より再開した。再開後は、1 日 3 組親子 8 名までの事前予約制とし、開所時と終了後の清掃・消毒などを徹底するなど、感染対策に時間をかけた。 ・例年行っている季節行事やミニ講座を中止し、自主事業で「自由遊び」「親子ヨガ」を開催。 ・千種区社会福祉協議会助成事業では、「理学療法士による「ママと子どものからだづくり講座」を開催した。コロナ禍で、地域の乳幼児と保護者が安心して集える居場所が限られていることもあり常に 2 か月先まで予約が埋まっている状態が続いた。 ・通年で全 83 回開催。新規登録親子 15 組を含むのべ 274 組の親子が参加した。 ・日本赤十字社愛知支部の助成を受け、ひろば内にプラズマクラスター空気清浄機能付き加湿器

	<p>を導入することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティアによって、ひろば専用の公式 LINE を立ち上げ、参加予約受け付けや情報提供などのコミュニケーションツールとしての活用を開始した。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にあっても、妊産婦を含む乳幼児親子が、安心して通所できる場づくりを常に意識しながらの感染防止対策が引き続き求められる中、スタッフやボランティアの確保も課題として残る。 ・千種区社会福祉協議会助成事業以外の全ての日程が自主開催であるため、安定的な資金確保も引き続き課題である。 ・スタッフブログ、インスタグラム、公式 LINE による情報発信を行い、利用者との新しいコミュニケーションが広がった。

事業名	子育てネットワーク千種 ミニ子育て広場
主催	子育てネットワークちくさ(事務局:千種区民生子ども課)
事業目的	区内の子育て支援関係機関等がネットワークを構築し子育て家庭への情報提供・相談の場、交流の場を作って子育てに喜びが感じられる地域社会への転換を目指す(規約より抜粋)
実施期間	※2020 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全ての日程が中止になりました。
担当	伊藤(理事)

その他の団体との連携、ネットワークづくり

名古屋市子ども・若者支援地域協議会
 愛知県青少年育成県民会議
 子育てひろば全国連絡協議会
 NPO 法人子ども健康フォーラム
 NPO おたがいさま会議

[4] [1]から[3]に関する研修・養成等企画運営事業

事業名	保護者・支援者向け集中研修 「変わっていく思春期の「からだ」と「こころ」を大好きになる 2020～障がいのある子ども・若者の 性と生の理解と支援～
助成元	公益財団法人日本社会福祉弘済会
事業目的	「障がいのある子ども・若者が、地域で安心して暮らすために社会からの孤立を防止し、自己肯定感をあげる」ことを目的に、①自身のからだところを大切にする気持ちを育み②他者とのコミュニケーション力を身につけ、理解者の拡大とスキルアップを図る。
実施期間	2020 年 7 月～2021 年 3 月
担当	統括: 田中弘美、事務局: 水野真由美(以上理事) 子ども & まちネットを中心に、障がい児者の支援に関わるメンバーで構成される STEP プロジェクト委員会によって、事業立案から運営までを行った。メンバーは、木全和己氏(日本福祉大

	<p>学)、伊藤修毅氏(同)、伊藤加奈子氏(産婦人科医)、市川恭平氏(養護教諭)、鉄井史人氏(特別支援学級教諭)、竹内健悟氏(障がい者福祉事業所法人理事)、鈴木由紀子氏 7(障がい者福祉事業所職員)、秋好眞澄氏(障がいのある子どもの父母のネットワーク愛知)、戸谷令子氏(同)、藤原美保氏(株式会社 Splendore 代表)、河村あゆみ氏(発達相談員)。</p>
<p>事業内容</p>	<p>2018 年度福祉医療機構(WAM)助成で作成した『Study Book』を活用して、保護者・支援者向けに研修を開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初計画していた集合型研修を変更して、オンラインによる基礎研修のみの開催となった。</p> <p>◆保護者・支援者向け基礎研修(全てオンライン)</p> <p>研修①「社会福祉現場の性の支援の取り組みと課題」～当事者に合わせ支援とは?～ 日時:2020年11月22日(日)10:00～12:00 講師:木全和巳氏(日本福祉大学社会福祉学部教授) 事例紹介:竹内健悟氏(障がい者福祉事業所法人理事)、 鈴木由紀子氏(障がい者福祉事業所職員) 申込者:92名、当日参加者:78名(参加率84.8%)</p> <p>研修②「障がいのある子ども・若者のセクシャリティ教育」～性教育の現状と課題～ 日時:2020年12月6日(日)10:00～12:00 講師:伊藤修毅氏(日本福祉大学子ども発達学部准教授) 事例紹介:鉄井史人氏(小学校特別支援学級教諭) 申込者:93名、当日参加者:76名(参加率81.7%)</p> <p>研修③「思春期の心と体の変化」～医療現場から見る「性」の現状と課題～ 日時:2020年12月20日(日)10:00～12:00 講師:伊藤加奈子氏(ココカラウイメンズクリニック院長・産婦人科医) 申込者:90名、当日参加者:77名(参加率85.6%)</p> <p>◆プロジェクト委員会の開催</p> <p>プロジェクト委員による、講座内容の検討及び準備などの会議をオンラインで行った</p> <p>第1回 2020年7月7日(火)20:00～21:30 今年度事業の進め方等について 第2回 2020年8月6日(木)20:00～21:30 研修内容の検討等について 第3回 2021年1月29日(水)20:00～21:30 振り返りと今後について</p>
<p>成果と課題</p>	<p>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集合型研修からオンライン研修へと変更して開催。これまで遠方が故に参加が叶わなかった方にも気軽に参加していただくことができ、全国各地から定員を上回る参加申込みがあった。</p> <p>・オンラインにしたことで、グループディスカッションやワークショップが難しいと判断し、基礎研修(座学)のみとし、また時間も2時間に限定して開催することとなった。</p>

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・対面と違って、個々の事例に沿った学びの深め合いや話し合いなどが難しく、参加者満足度が下がることを懸念したが、事後アンケートの結果では、内容について「大変良かった」「良かった」を合わせて 88.4%から「良かった」との回答が得られた・今後も、オンライン開催が続くことが予想されるため、オンラインでの研修のあり方や、ワークショップや話し合いの場づくりなどの点で課題が残った。 |
|--|---|

3. 会議の開催に関する事項

(1) 総会

1. 開催日および場所

日時: 2020年(令和2年)6月28日(日)17時~17時45分

場所: 子ども&まちネットひろばスペース及びオンライン会議システム zoom

2. 議題

第1号議案: 2019年度事業報告の承認について

第2号議案: 2019年度事業決算の承認について

第3号議案: 2019年度事業計画の議決について

第4号議案: 2020年度予算計画の議決について

第5号議案: 任期満了に伴う役員の選任について

(2) 理事会

第1回 理事会

1. 開催日および場所

日時: 2020年6月28日(日)16時~17時

場所: 子ども&まちネットひろばスペース及びオンライン会議システム zoom

2. 議題

第1号議案: 総会資料の確認

第2回 理事会

1. 開催日および場所

日時: 2020年6月28日(日)18時~18時30分

場所: 子ども&まちネットひろばスペース及びオンライン会議システム zoom

2. 議題

第1号議案: 理事長の選任について

第3回 理事会

1. 開催日および場所

日時: 2021年2月26日(日)20時~21時30分

場所: 子ども&まちネットひろばスペース及びオンライン会議システム zoom

2. 議題

第1号議案: 今年度事業進捗について

第2号議案: 次年度以降の計画について

第3号議案: 理事長の改選について